平成 23 年 11 月 9 日

各　　位

会 社 名　国際計測器株式会社
代表者名　代表取締役社長　松本　繁
（ＪＡＳＤＡＱ・コード　7722）
問合せ先　取締役総務部長　松本　博司
電話番号　042－371－4211

第２四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 23 年５月 13 日に公表いたしました平成 24 年３月期第２四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．平成 24 年３月期第２四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異
（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	5,000	800	770	460	32.82
今回実績（B）	4,313	210	146	69	4.96
増減額（B）－（A）	△687	△590	△624	△391	
増減率（%）	△13.7	△73.8	△81.0	△85.0	
(ご参考)前期第２四半期実績(平成23年３月期第２四半期)	3,978	508	338	239	17.11

２．差異の理由

売上高につきましては、期首繰越受注残高及び堅調な受注状況から 50 億円を予想しておりましたが、海外ユーザーの要請や韓国並びに中国の子会社の現地ユーザーへの納品検収が第３四半期以降へずれこんだ案件が発生したこと、及び予想策定時の想定に比べ円高へ急激に進行したことなどから、当初の業績予算を下回る結果となりました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費は当初の予算内で推移したものの、当第２四半期において既存製品及び新規開発製品のうち原価率の高い案件が集中したことにより売上総利益を押し下げたことなどから、当初の業績予想を大幅に下回る結果となりました。

経常利益及び四半期純利益につきましては、上記の理由による影響の他、大幅な為替変動による円高により為替差損を計上したことから、当初の業績予算を大幅に下回る結果となりました。

通期業績予想につきましては、第３四半期以降に上記の期ずれ案件や利益率の高い製品の出荷を予定していること、受注状況が堅調に推移していることから変更はありません。

なお、中間配当につきましては、通期業績予想を達成する見込みであることから当初の予定通り 20 円といたします。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以　上